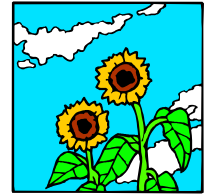


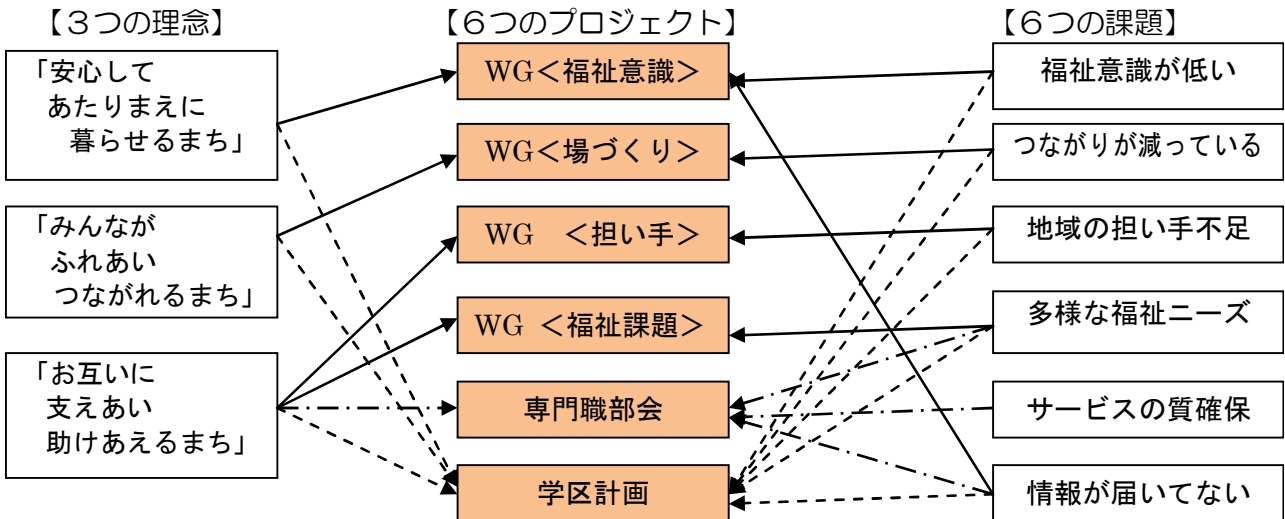
いよいよワーキンググループがスタートしました。作業部会の委員さんが4つのワーキンググループに分かれ、世話人さんの進行のもと議論を進めています。これからはワーキンググループの進捗状況は委員さんのリレーによって毎月レポートしていただきます（裏面）。お楽しみに！

## 7月の経過報告



- ◆7/2 事務局会議
- ◆7/8 プロジェクトチーム会議 業務分析①
- ◆7/8 学区担当者会 学区計画策定の意義の再確認
- ◆7/8 第2回策定委員会

これまでの経過報告と整理されてきた課題・理念について協議し、今後の取り組みについて了解を得ました。



- ◆7/8 第6回専門職部会  
計画策定作業全体の状況／茅野市の保健医療福祉の総合相談支援体制について
- ◆7/15 滝川学区 第1回策定委員会  
学区内の作業部会を設けて具体的に話し合っていくことになりました。

- ◆7/15 ワーキンググループ<担い手>①
  - ◆7/18 ワーキンググループ<場づくり>①
  - ◆7/23 ワーキンググループ<福祉意識>①
  - ◆7/1・29 ワーキンググループ<福祉課題>②
- } ワーキンググループの結果は裏面

## 8月の予定

- ① プロジェクトチーム会議 8/6 (水) 14:00～16:00
- ② 第7回専門職部会 8/25 (月) 19:00～21:00
- ③ ワーキンググループ
  - <担い手> 8/25 (月) 18:00～20:00
  - <場づくり> 8/29 (金) 15:00～17:00
  - <福祉意識> 8/7 (木) 18:00～20:00
  - 8/25 (月) 16:00～18:00
- ④ 学区担当者会 8/28 (木) 10:00～12:00
- ⑤ 学区計画
  - 滝川学区 作業部会① 8/7 (木) 10:00～12:00
  - 鶴舞学区 ワーク1日目 8/24 (日) 10:00～12:00



## 福祉課題

<7/1 (火) 第1回会議  
で話し合われたこと>

- ・区内において日常生活を送る中で住民相互が助け合う仕組み(システム)を作る。そのためにどのような助け合いがあると良いのか。また実行するシステムはどうあると良いか。
  - ・区内にはいろいろな団体・組織が同じような目的で活動している。他団体と協働できないか。連携したり分担できないか。これらの整合性を考えたい。
  - ・区内の他団体・組織の実態把握をするため調査する必要がある。→アンケート形式で照会
  - ・区役所は7月に「昭全区政運営方針」を発表した。この内容は我々が検討しようとしている内容と一部重複している。行政の立場でどのように進めようとしているのか、区役所から具体的に説明をうけ、参考としたい。
  - ・WGのメンバーを増やしてより多くの意見を集約したい。【堀井さん】
- \*7/29の報告は8月号に掲載させていただきます



## 担い手

第1回の会議が、7/15(火)午後6時から昭全区在宅サービスセンターのボランティアルームで開催されました。

参加者は、浅野・石塚・蟹江・長谷川・高濱・河島(敬称略)の6名が出席しました。

まず議論を進めていく上でのルールを話し合いました。出席者全員が発言しましょう・なんでも言いたいことが言えるサロンのような場所にしましょう等基本方針を決定しました。

その後議題に入り、まずグループ名は意味が分かりやすい<担い手>に決定。

ボランティアをしてくれる担い手をどのように発掘していくか?という具体案に関して活発な議論が続きました。既に活動をしている人は、兼務の人が多いため多忙を極めている、いかにして新たな人を発掘したらいいのか・

・定年でリタイアした人は、ボランティア活動に関心や興味を持っている人が多い、例えば鯉城学園の会員を当たってみたらどうか・

“昭全区をより良い街にしたい”という皆さんの意気込みが活発な意見を呼び、終了時間を30分も延長し1回目の会議は終了しました。

【河島さん】

# ワーカーグループの声



## 場づくり

7/18(金)午後3時から、在宅サービスセンター2階研修室東において、ワーキンググループ<場>の第1回目の会議を開催しました。

初めに、出席者が自己紹介をしてお互いの理解を深め、気軽に意見を出し合える雰囲気づくりをしました。

そして、検討テーマである場づくりの「場」とは何かについて、各自が持っているイメージを出し合ったうえで、今後、このワーキンググループで検討する内容について話し合いました。

世話人の日比野さんの進行のもと、メンバー全員が、様々な立場から、活発に意見を出し合うことができました。今後は、地域の「場づくり」の実例について情報収集をしながら、課題解決に向けた具体的な提案ができるよう、検討を進めていきたいと思います。

【今村さん】



## 福祉意識

7/23 第1回目が開催されました!このWGは、作業部会の中でみなさんから出して

いただいた「住民の福祉意識が低い」「福祉教育が十分できていない」「障がいを持つ方への偏見がある」などの課題を解決していくための方法を考えていくグループです。メンバーは熱意のある6人で構成され、第1回目は今後どんなことを議論していくかを中心に話し合いました。その中で出てきた意見として、高齢者自身の福祉に関する関心が低い/社協の存在や活動について地域住民に知られていない/福祉意識啓発のために学校教育が必要であるが、社協と学校の連携を深める必要がある/福祉施設における福祉意識啓発も必要ではないか、などのご意見が出され、それらをまとめて「地域住民に福祉意識を啓発していくためにどんな啓蒙活動ができるのか、またその仕組みをどのように作っていくか」をテーマに今後の話し合いを進めていくこととなりました。

次回以降、メンバーの考える福祉意識について整理をしていきながら、各分野に対するアンケートや聞き取り調査なども予定し、十分に現状を把握した上でどのような方策が効果的か検証しながら進めていきたいと思います。

【津貫】